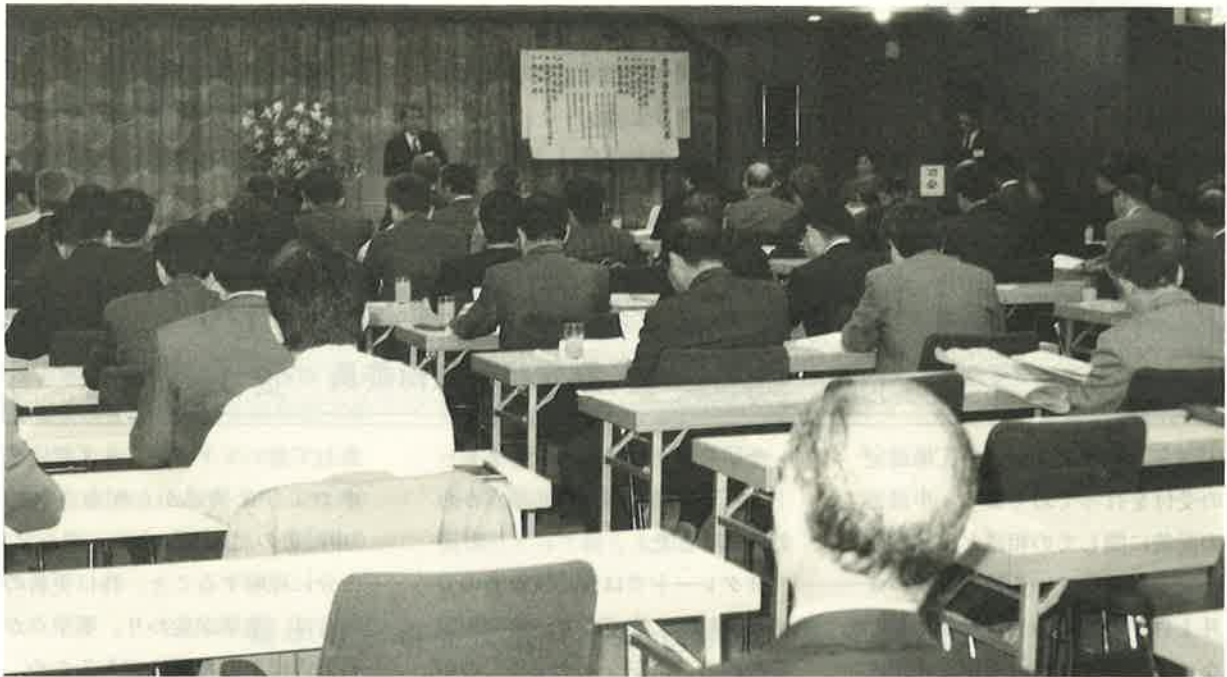


# リポート 東構協

1994年 7月 20日

第 3 号

発行 東京鉄構工業協同組合  
 〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階  
 TEL 03 (5566) 1 5 9 5  
 FAX 03 (5566) 1 5 9 7



第8回通常総会の会場風景（鉄鋼会館）



## 品質保証への対応を

理事長 金子 升一

去る5月26日開催の第8回通常総会は多数の会員のご出席のもと、無事終了致しました。ご協力誠にありがとうございました。

我々業界を取り巻く環境は厳しく、これまで経験したことのない状況に陥っております。各県の今総会をみましても「協調と団結」「組合活動の原点に」「市況対策の推進」等、危機突破への対応で終始しておりました。私も、総会時の挨拶で申し上げましたよう

に、適正かつ安定した受注価格の維持はもちろんの事、鉄骨品質保証への対応が重要なテーマとなってきております。

このことは、全構連の第8次認定においてソフト面の評価が重視されていることから窺えます。各種技術者の育成と確保、作業の安全性向上は品質保証時代の欠くべからざる要因です。

企業の自助努力の継続はもとより、組合活動を通して会員相互の

交流促進を図るなかで、当面する諸問題を解決していかなければなりません。地区グループ、各種研修会や共済活動への積極的な参加、活動を通じ競争力と体力の強化を図る事が極めて重要となります。

建設関連に明るさがみえてくるまでにはまだ時間かかることを覚悟しておく必要があります。忍耐と英知でこの難局を乗り切ってください。

(那須ストラクチャー工業(株)専務)

# 《技術教育事業委員会からのお知らせ》

副理事長 奥田 隆



第8次1回目認定申請書受付を開始しております。申請書の書き

方については、下記をご参照下さい。なお、今回より当組合員会社で他県に工場がある場合、工場実態調査は当組合審査委員と工場所在地県の調査担当委員とで実施する事になりました。

本年度、今後実施する講習会等のスケジュールがほぼ確定しまし

た(8ページ参照)。また、検査パトロールは、今年度から年1回となりました。当委員会としては、皆様と直接お話出来るような巡回を別途企画する予定です。

以上、当委員会活動に対するご要望ご意見がありましたら事務局にお寄せ下さい。(叶産業(株)会長)

## 第8次1回目の工場認定申請に関して

認定担当技術委員 金子 幸平

①現在、第8次1回目の工場認定の受付を行っております。申請書の記載に関しての相談と申請書のチェックをしている段階です。8月1日が申請書の受付の締切りとなっておりますから認定を希望する工場は早く申し込んで下さい。

今年度第8次の認定より認定基準が大幅に改正になりました。改正項目の概略は次の通りです。

Jグレードは従来の基準が廃棄され、H. M. R. の基準に合わせた体系に制定されました。従って、必須点が多く付加されたので十分な注意と準備が必要です。

今回の改正では、全てのグレードより現寸場の面積が必須点から外されました。

Rグレードでは管理技術者の資格が全般的に高くなり、溶接用設備機器の“ポジショナー等”の項が要望点から必須点に変更になりました。

Mグレードにおいては大きな変更はありませんが、(Ⅱ)管技術者の17項“品質管理担当者”が要望点より必須点になっています。

HグレードはMグレードと同じ項目が変更されました。

申請書の記載には、次の事に留

意して書いて下さい。まず認定基準および全構連から配布された“申請書の記入例”を良く読んで、十分に理解すること、特に更新の場合は、基準が変わり、要望点が必要点になった項目があるため、必須点の項目を確認して下さい。

工場実態調査表(ソフト面)も項目が増えました。各項目について、満足な説明が出来る様にしておく事が最も大切なことです。

申請書の書き方について不明のことがありましたら、遠慮なく事務局に連絡して下さい。

### 日 程 表

- 申請書受付……………6月1日～7月15日
- 申請書照査完了……………8月1日
- 新規工場認定申請者  
工場調査説明会……………8月3日
- 工場調査日……………8月20日～10月20日

# 『鉄骨損益早見表』について

理事 松田 清明



平成4年度、5年度全構連の教育事業委員会の委員として東構協より派遣され、種々の教育事業関連施策の計画、立案などに携って参りましたが、このほど任期もようやく終わりました。

この2年の間に一番印象深い事と言えば、やはり「鉄骨損益早見表」を全構成員に配布できたことです。

バブル経済の崩壊と共に多くの業界に価格破壊の荒波が押し寄せました。当業界もその荒波に抗すべくもなく呑み込まれました。そのような情勢の中で、構成員個々の原価意識の薄弱さが問題となり、構成員に対する原価管理教育の重要性が提起され、常任理事会の命を受け、教育事業委員会で検討することになりました。当委員会としては異例の回数の討議の末にとりまとめたものが「鉄骨損益早見表」であります。

財・物・サービスあらゆる価格が需要と供給が支配する市場原理で決まるのが自由主義経済であります。そして自由主義経済の優位性は、共産主義、社会主義経済の崩壊によって証明されております。よって価格破壊の大きなうねりの中では、供給側が自らを絞り込み、需要に合わせることでしか価格問題は解決できません。日本は今、多くの業界でこの構造調整

を迫られているのです。

それゆえに、個々の企業での原価の把握が重要なのです。「鉄骨損益早見表」では、「付加価値」=「固定費」を「損益分岐点」としていますが、実際は固定費に満たない付加価値しかゼネコンから支払ってもらえないのが現状なのです。

「鉄骨早見表Ⅰ」は100%稼働の場合、「同一Ⅱ」は70%稼働の場合を例にとってあります。稼働率を下げれば損益分岐点が上がるということがよく分かります。このことから、現状では稼働率を下げるということを一社のみで実行することは困難なのです。

それではどうすればよいのか。これを皆様と一緒に考えていかななくてはならないと思います。

一つの考え方として、供給側の削減と言う視点から、固定費を文字通り固定しないで、固定費と言えども経済情勢の変化の下では変動させなくてはならない、というのがあります。バブル時代に膨らんだ生産設備、人件費等を切りつめるのです。個々の企業で生産能力を削り、スリム化を図ることで。今流行のリストラクチャリングです。余裕のあるうちにやるのがリストラクチャリングで、余裕がなくなってからでは共倒れとなってしまう。それでも良いのかも知れません。日本経済全体の



青経委が講習会

構造調整の一環だと思えば納得も出来ます。

全構連の教育事業委員としてのこの2年間、いろいろのことを考えさせられました。その一つは生産能力に重点を置いた「工場認定制度」がこれからも絶対に必要なのか、ということです。ソフト重視に移行しつつあると言っても結局同じことだと思います。

この所、種々の経済統計では景気の立ち直りが見られつつあります。何もしないで我慢していれば、そのうち元通りになるのかも知れませんが。それを期待し続けるのも一つの方法かも知れませんが。

今回作成された「鉄骨損益早見表」の特徴は次の通りです。

1. 付加価値と固定費の比較であり、損益分岐点を付加価値=固定費とみなす。

2. 稼働率ごとの鉄骨生産量に応じた加工単価(付加価値単価)を算出し、その損益分岐点についてその計画及び実績段階で速やかに把握できる。

3. 多角経営を行っている企業では、鉄骨とその他の営業品目の総合的な損益計算ができ、重点品目の把握が簡単である。

4. 速やかに計算するためにパソコンによるシュミレーションを基本としているため、各科目を非常に簡略化している。

是非ご一読を。(松田鋼業(株)社長) 組合員各位にはすでに配布済みですが、必要の方は組合事務局に申し出て下さい。

## 〔資材共済事業へのご協力お願い〕



副理事長 辻川 幸四郎

平素は資材共済事業にご協力いただき、ありがとうございます。ご承知の通り、共済事業は組合

財政の基盤作りとなるものです。組合員各位、賛助会員各位と組合は共存共栄関係にあります。皆様にメリットある商品を提供することによって、この苦しい時期を乗り切って行こうと考える次第です。

そのためにはまず、そのメリットを皆様に知って戴く事が第一です。今回は第一弾として、保険関係とCAD関係をご紹介します。今後共一層のご協力をお願い致します。(株辻川鉄工所社長)

### 〇〇賛助会員会社紹介〇〇第1回

## 〈大同生命〉

今年の4月、名古屋空港において中華航空機墜落事故が起きました。乗客271名中、実に264名の尊い命が失われた事は記憶に新しいと思います。誠に不謹慎な話ですが、生命保険・損害保険・生命共済より合計145億円強の保険金が支払われました。保険(共済)とは、万一の時に備え加入するものですが、その支払い事由には様々な悲しみがつきまといま

しかし一方では、生きるための保険、悔いのない人生を送るための保険も注目されており、我々日本人の価値感も多様化しております。そんな時代を反映し、東構協においても「全構連ライブ」を推進頂いておりますが、これはガン、急性心筋梗塞、脳卒中の三大成人病にかかった場合に、生きるための保険金を生存中に支払う制度です。また、昭和55年にスタートし今年で15年目を迎える「全構連生命共済制度」は、安い掛金で最高1785万円の保険が得られ、労災保

償の上積み保険として活用でき、従業員の災害及び不幸に万全の備えができる制度として、全国で2583社、2万9086人にご加入頂いております。東構協でも33社、3586人の方にご加入頂いておりますが、加入率では残念ながら全国でも低い状況です。

「東構協生命共済担当の大同生命推進員」が皆様方の会社を訪問致します。どうぞ加入申し込み頂きますようお願い申し上げます。(東京支社共済営業課)

## 〈AIU保険会社〉

平素は組合員の皆様には第三者賠償総合共済、お仕事中的おケガに対する保障の災害補償制度に関しまして、ご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今現在、6月15日より募集キャンペーンを展開させていただいております。この2つの制度は必ずや皆様のお役に立てる制度として、自信をもってお勧めしている次第です。経済の見通しは、まだまだ厳しい状況が当分続くものと思われます。こうした経済環境の中で、より少ないご負担で予期しえない事故に対し、効率良く手当するこ

とは、大変重要な経営の一環であろうと考えます。企業が予期しえない事故などにより、経営が影響を受けることは残念な事はありません。

第一の制度であります第三者賠償総合共済は、予想され得る賠償事故に対して幅広く対応できる制度であります。昨年度は8件の賠償事故が発生し、加入14社ということから考えますと、かなりの頻度で事故が発生していると言えます。それだけお役に立てたと言えますと同時に、その必要性を痛感した次第です。従って、より一層、皆様にご案内し、ご加入頂くよう積極的に、募集活動させて頂きま

また、この制度の掛け金は、年間加工生産トン数に10円を掛けて頂いた金額が月々のご負担額になります。この負担額は一般の通常保険料のおよそ5分の1程度です。

もう一つの災害補償制度は労災保険の上乗せとしてお勧めするものです。ご存じのように政府労災は最低の生活を保障するもので、自動車保険などと比べると著しく保障が低く、決して十分とは言えません。政府労災を補完するものとして、加入が簡単、無記名契約、手続きが簡単、支払いが早い、外人労働者も対象、掛け金が割安、などの利点をご考慮頂き、是非ご加入のお願いを申し上げます。(上野支店)

## 〈アメリカンファミリー〉 生命保険会社

平素は、当社「スーパーがん保険」「スーパー介護年金」両制度に関し、多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

当社では、平成2年より、毎年1回の定期募集と、担当代理店丹治より個別訪問を行い、組合員企業並びに従業員、ご家族の皆様へ加入のご案内を展開させていただいており、現在までに、おかげ様で約350口ものご賛同を得ております。両制度とも、生きていくための長寿社会対策の制度です。掛け金はお1人からでも団体割引が適用され、会社契約については全額損金への計上が可能となっております。

ります。又、掛け捨てではなく、解約返戻金があります。

まず「スーパーがん保険」ですが、昭和49年に日本で発足して以来、優に1,000万件を超える支持をいただいております。

この商品の最大の特長は、一生涯の無制限な「入院保障」と「在宅保障」です。特に平均入院日数100日という長い治療期間、そして年々高騰する医療費。なかでも差額ベッド代や付添看護料など健康保険でまかなえない自己負担は月々78万円～172万円もかかっております。「スーパーがん保険」は入院治療に伴う様々な負担をカバーする為の安心して“がん”と闘っていただくための制度です。

第2の「スーパー介護年金」は、

日本社会の急速な高齢化に対応した商品です。高齢者層の増加につれ、平成2年では“痴ほう”“寝たきり”老人の人数は、約180万人でしたが、30年後にはその3倍の549万人にも達するとの報告が出ております。この様な社会背景の中、介護や治療に関わる経済的負担を援助するのがこの制度です。がん保険同様一生涯の無制限の介護年金保障を柱に幅広い保障が得られます。

ご加入方法は、会社契約（全額損金計上）か従業員及び家族（関連会社を含む）の個人個人の契約という2通りとなります。

是非ご検討下さいますようお願い申し上げます。

（東京第四統括営業部神田支社）

## 〈ドッドウエル〉 ビー・エム・エス

当社はO A機器の販売、保守、開発をメエンに活動しております。現在社員の総数は全国で約600名、主要都市を中心に32の拠点を設けております。常々お客様に満足いただける様、販売からメンテナンス、消耗品の取扱いまでバックアップしております。

現在、東京鉄構工業協同組合の皆様にご紹介させていただいている当社自慢のS/Fシリーズもおか

げ様で昨年、全国でユーザー数が1000社を超えました。

S/Fシリーズのメエンは、施工図システム、型紙システム、積算見積システムの3点です。中でも積算システムは最初に開発されてから10数年、現在では面倒な拾い出しを図面入力感覚で積算するシステムも開発されております。更に厳しい競争を勝ち抜くため、コストの削減を目的とした原価管理システムを開発しました。そして、積算システムから施工図システム、型紙、NC機までの連動と

開発を続けております。

施工図システムのオプションでは、ドープチ、ブレース、検査表などは好評を頂いております。現在のシステムが存在するのもお客様の御意見、御要望があってこそのことです。鉄構業システム以外にも、携帯電話、FAX、コピー、財務給与システムなどO A機器のことは何でもおまかせ下さい。

今後とも謙虚な姿勢でお客様と共に歩んで行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。（システム営業部）

## 〈大新技研〉

当社は長年、エンジニアリング業務に携っており、その中で培えたエンジニア達のアイデアと、お客様のニーズを組み合わせ、常に使いやすい製品を追求しております。

代表的商品として次の様な業界向けのCAD、CAD/CAMシ

ステムを御提供しております。

- ① 鉄骨用CADシステム  
「Mr・鉄骨」  
「Mr・フレーム」
- ② 橋梁用CADシステム  
「D・CAD Bridge」
- ③ 汎用CADシステム  
「D・CAD PRO」
- ④ 溶断用CAD/CAMシステム  
「ANS PRO」

「業界のノウハウ」を製品に盛り込み、「設計から加工まで」をトータルサポート致します。

皆様の業務効率化に必ずや、貢献できるものと自負致しておりますので、なにとぞ宜しくお願い致します。

なお、当社はデモンストレーションの出張サービスも行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。（東京支店）

追

想



昭和31年、この年、3年生の根岸がS B銃を購入。この銃は、“ウィンチェスターモデル52”と言い、オリンピック専用に作られた途方もなく素晴らしい名銃であった。実際、合宿において、それを手にした者全員がその性能に二の句も告げぬ程であった。

普通、銃は構えた時、微妙にその動きを感じるものだが、このモデル52という代物は、びくとも動かないではないか。

私はこの瞬間、既にこれを使用していた他校の強さの秘訣を一度に見た思いであった。

実際に例を上げて説明するならば、旧モデルでは伏射20発で百四十点程なのに対し、ウィンチェスターモデル52では、百九十点は、楽にマークできるのである。

一目瞭然の差である。

同年、第3回全日本学生ライフル射撃選手権大会が神奈川県富岡射撃場で行なわれた。

第1日目、空気銃部門の自由銃（ポンプ式）とスプリング銃が行なわれ、前者で1位、後者では近差で5位と、いつにない好スタートが切れた。

この時、我々のスコア集計と他校の成績を見比べた後輩の根岸君が「明治がどうかしたらしい。全員が悪い成績です」と報告してきた。しかし、何と言っても負けを知らない、あの明治だけに、すぐ

にでも巻き返して来ると自分達に言い聞かせた。しかも、後には、同志社も関西大学も控えていたのだから……。この時点では、我々が勝つ事など考えもしなかったのである。

2日目、予想通り同志社が頭角を現わしてきた。そして、明治も必死になって、立て直してきた。しかし、塾（慶応義塾）の空気銃の成績は、個人賞を各選手が奪う程、素晴らしい出来であった。何と、2日目終了時点で、最高総得点をマークしていたのである。

いよいよ3日目、塾の名射手、守田副主将が射ち終えた時、エア

**名銃との出会いと名勝負**  
理事 吉岡 克昌

と並び、S Bも明治を抜いて、同志社と並んだ。そして、60発の内、59発目で同点に追いついたと言う知らせが、最後を射っていた私の耳に容謝なく入ってきた。

折しもこの日は、風が強く、非常に寒い日だった。私は、カイロを2つポケットに忍ばせ、指を暖めていた位であった。そこに、この突然の知らせである。それが、吉報とは言え、私の体は、カイロ2つ位では、到底ほぐせぬ程、緊張で固くなってしまった。

最後の一発である。

以後は、私の後輩である松丸君の“射撃部の追想録より”を一部引用させていただく。

「それは、我が部が隆盛を極めた時代の一人の名選手の話である。我が部が隆盛を極めた時代とは、このところ縁の遠い全日本学生選手権に優勝という遠業を成し遂げた時代のことである。

昭和31年11月、今はない神奈川

県富岡射撃場において、全日本選手権は行なわれた。それは、寒く風の強い日であったという。最終日、出場校は2校を残して全て撃ち終わった。残っているのは、我が慶応義塾と同志社だけである。今までの合計点で、優勝はこの2校で争われることになった。それぞれのアンカーの戦いになっていたのである。その時、我が部のアンカーを務めたのは現在、監督をしている吉岡先輩である。2人のアンカーの得点は、60発競技の59発目で同点に追いついた。さあ、最終弾で勝敗は決する。同志社が先に撃った。得点は9点、10点を撃たなければ本塾は勝てない。

吉岡先輩のその時の心境は、我々なら良くわかる。頭に血がのぼ

り、身体は震え、とても射撃をする状態ではなかったであろう。それでなくとも、風が強く、身体は揺れている。後には、海軍大尉あがりの当時の監督、堀先輩が仁王立ちになってこちらを睨んでいる。10点を決めるには、完全に銃を静止させなければならない。立射なので、とても不可能である。

吉岡先輩、じっと目をつむり、考えていたという。目を開くなり、いきなり銃を左から右へ移行させた。そして、照準の中を標的の黒点が右から左へ流れようとした瞬間、引金をおもむろに落とした。得点は、みごと10点。慶応義塾はその年、全国制覇を成し遂げたのである。

これは、何を意味しているのか。吉岡先輩が行なった射撃方法は、タイミングショットと呼ばれ、当時も、そして現在でも邪道と言われているもので、我々も後輩を指導する場合、決して行なってはな

らないと教えているものである。  
銃は完全に静止させてから撃つのが原則なのである。が、私の言いたいのは、精神力のスポーツと言われる射撃は、概して、その時のプレッシャーや精神状態に自分が負けてしまうことが多い。しかし、その時の自分の状態を分析し、あえて邪道といわれるタイミングショットにその活路を見出した吉岡先輩の精神力と勇気を見習って欲しいのである。……以下、省略……」  
私の話を聞いて、うまく表現してくれたと感心している。これに一言付け加えるとすれば、私は子供の頃から空気銃で蝙蝠や、硬貨を空中に投げたものを撃つ遊びばかりやっていたのだ。つまり、当時の私にはこのタイミングショットという撃ち方には、かなりの

自信があった。数万発を撃ち、自ら会得した“技”と言うべきかもしれない。  
長年の経験と最大の努力、そして“ツキ”が重なった時、不可能が可能になったと言えるのではないだろうか。  
故塾長である、小泉信三先生曰く、“練習ハ、不可能ヲ可能ニスル”。その言葉の意味を肌で感じとった一発であった。  
あれから、既に40年余りが過ぎようとしているが、いまだ明治大学と同志社には勝つ事ができない。無念だ!!  
しかしながら、その後、昭和53年に私自ら発起人となり、慶応義塾高等学校射撃部を創設。  
それは、一貫教育と言う、我が塾ならではの教育方針を生かし、射撃にとって最も大切な精神力と

技術をなるべく早期より養う事を目的として、その指導に全力を尽くそうと考えたからである。そして、いつの日か再び“名勝負”と言われるような戦いを後輩達にぜひとも再現させてやりたいと願ってやまない。  
昭和60年8月9日、奈良県天理射撃場において、全国優勝した記録は、いまだ新しい。  
メンバー＝副部長・尾崎肇、監督・吉岡克昌、選手・伊東連人、小池泰輔、大木盛義の3名。参加校65校、選手総数235名中の優勝である。立派な成績であった。そして、同時に、高等学校射撃部創立8年目の快挙であった。  
(吉岡工業(株)社長)

——青年経営者委員会 平成6年度 事業計画案——

実施時期	内 容	備 考	担 当
H 6 年 7 月	経理・決算書の見方 講習会	講師：桜井勝人氏 中小企業大学校講師・税理士・中小企業診断士	経 営
8 月	不具合処理 勉強会 Part 1		認 定
9 月	同 業 者 工 場 見 学	都内 または 近 県	技 術
10 月	U T - II 学 科 受 験 対 策 講 習 会	N D I 超 音 波 探 傷 受 験 対 策	技 術
11 月	U T - II 実 技 受 験 対 策 講 習 会	N D I 超 音 波 探 傷 受 験 対 策	技 術
11 月	異 業 種 交 流 会		経 営
H 7 年 1 月	税 金 対 策 ( 相 続 税 ) 講 習 会		経 営
2 月	C A D 関 連 講 習 会		技 術
3 月	不 具 合 処 理 勉 強 会 Part 2		認 定

# 通常総会報告

## 副理事長 吉田 増男



東京鉄構工業協同組合第8回通常総会は、5月26日午後4時から鉄鋼会館にて開催されました。

厳しい環境下、出席率についての心配もありましたが、委任状を

含めて78社が集まり、盛会に終わりました。

議事内容については、定例の事業報告から収支決算、そして平成

6年度の事業計画、収支予算と順調に議決承認を頂きました。

また、総会の席上、前年度の新入会会社の紹介、新規認定取得会社への認定証授与及び共済事業での努力事業所の表彰、そして永年勤続理事と永年勤続副理事長の表彰もとり行なわれました。

以上通常総会報告と致します。  
(大萩工業(株)社長)

## 《講習会・今後の予定》

名 称	開 催	備 考	試 験 月 日 (新規取得者)
鉄骨製作管理技術者受験者向 J A S S 6 講習会	10月7日8日 (金)(土)	参加希望者についてアンケート調査致します	試験10月15日(土) 受験申込締切8月5日(金)
鉄骨検査技術者受験者向 (精度・超音波) 実技講習会	10月1日(土)	学科試験合格者と開催希望アンケート調査致します	学科試験7月16日(土) (受験申込締切済) 実技試験精度11月3日(木)~ 11月6日(日) 超音波11月28日(月)~ 12月1日(木)
WES 2級試験事前強化講習会	10月末予定		[(試験11月13日)(日)]
現場施工管理技術講習会 (施工計画、建方、HTB、安全、スタッド、合成スラブデッキ等)	9月3日(土)	現場管理に携る技術者に対する講習を新たに企画しました。	
検査の受け方進め方	11月予定	受入検査への対応等、O.J.Tで習得するノウハウを実演により講習新企画	
建築工事施工計画等講習会	未定		
新規工場認定申請者工場調査説明会	8月3日(水)	各社に直接ご案内します	
新 J I S ( S N 鋼 ) 説明会	未定		

## 新規組合員紹介 //東構協メンバー134社に//

全構連登録No.	会 社 名	代表者名	〒	所 在 地	電 話 F A X	資本金 (万)	年能力 トン	認定関係 グレード	所 属 グループ
129	井上鉄工(株)	井上景悟	181	東京都三鷹市井口1-10-29	0422-31-1447 0422-33-1932	1,000	1,500	未	西
130	日 精(株)	大浦 武	969-01	福島県西白河郡泉崎村 字中刻工業団地	0248-54-1021 0248-53-4655	45,000	750	未	南
131	(有)山口鉄工所	山口 剛	193	東京都八王子市東浅川町334-1	0426-64-3104 0426-62-7297	300	542	未	西
132	(有)中林鉄工	中林 弘	198	東京都青梅市藤崎853-1	0428-32-1325 0428-31-1490	500	1,050	未	西
133	(株)佐木建鉄	佐々木昭	190-12	東京都西多摩郡瑞穂町 大字武蔵477-5	0425-57-4434 0425-56-4474	800	1,002	未	西
134	神永鉄工(有)	神永文男	352	埼玉県新座市大和田3-11-25	048-481-4326 048-477-5618	500	600	未	北

※退会 岡本巧業株式会社

(平成6年7月20日現在・登録構成員)

## 編 集 後 記

☆リポート東構協も今回で第3回目になりました。今後も年2回、徐々に内容を充実させながら組合員の皆様の役に立つよう編集を続けて参ります。現在の鉄構業界は

まさに戦国時代、経営者、管理者の資質が問われる時代になりました。足元を踏み固めて、時代に押し流されないようお互いに頑張りましょう。 (K・K)  
☆今年も半年経過したが、鉄骨業界の耐久レースは、折返し点が未

だ見えて来ない。これからの正念場です。今年も後、半年を残すのみ、お互いに希望を持ってこの耐久レースを完走しましょう。リポート東構協を組合関係資料ファイル(緑色)に保管して、有効に活用して頂ければ幸いです。(K・O)